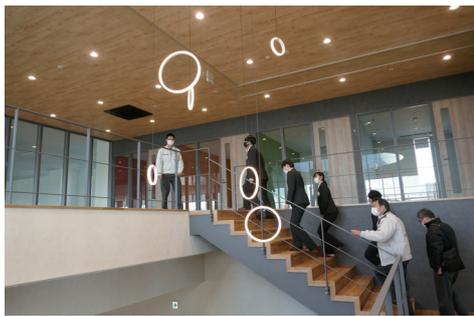


◆ インターンシップ

1月22日に学生インターンシップで現場見学を実施しました。



1現場目は、完成したばかりの現場へ見学に行きました。
去年、4月に入社した若手社員の鈴木係員に案内をして頂き、
入社一年未満の鈴木係員ですが、わかりやすく丁寧に説明してもらいました。
なかなか入れない完成したばかりの現場を見学でき、緊張しながらも貴重な体験ができたと思います。



2現場目は、着工したばかりの現場へ見学に行きました。
まず、小林次長に工事内容の説明をしていただき、実際に現場を見学しました。
見学当日は杭打ちの作業をしていました。
稼働中の大型重機をまじかに見た学生の皆さんは驚きの表情で興味津々に見学をしていました。
完成後には見られない部分ですが実際に見ることで良い体験ができました。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

◆ 赤城食品株式会社工場新築工事 地鎮祭

赤城食品株式会社新築工事の地鎮祭を実施しました。
新型コロナウイルス対策として、消毒・マスクを徹底し、席の間隔もあけての実施になりました。



各現場では、新型コロナウイルス対策を徹底的に実施しています。



手洗い場のすぐ横には、使い捨てペーパータオルや消毒液・うがい薬などが設置してあります。
また、現場事務所の休憩所内にも消毒液・体温計を設置し、感染対策をしています。



◆社内検査

設計～プレゼン～施工まで三位一体

【株式会社 日東システムテクノロジーズ】



当社が設計～プレゼン～施工した株式会社日東システムテクノロジーズの社内検査を行いました。

デザイン性の高い建物の工事に携われて、とても良い経験になりました。(池田係員)

あらゆる面で象徴的な建物の建築に携わることができて感無量です。ありがとうございました。(鈴木係員)



◆重声会【木遣り】

・栗原専務

石川建設(株) 重声会は、1986年(昭和61年)に木遣保存と育成を積極的に推進し、社員の親睦及び会社の発展に寄与することを目的として、名誉会長の「重」の一文字を頂いて『重声会』と名付けられました。発足から35年目を迎え、現在も若手社員から年配社員までが、共に重声会の精神(名誉会長の精神)である「声を重ね、心を重ね、力を重ね、石川建設の歴史を永遠に重ねよう」をモットーに毎週月曜日に本社7階の大ホールで全員マスクをしてソーシャルディスタンスを十分に確保して、皆の声と心と力を重ねる練習をしております。週に一回、お腹から声を出すことで、ストレス解消(気分転換)になると思いますので、是非参加してみてください。今年、安全大会や木崎祇園での披露が出来ますことを重声会一同、ご祈願しております。

・井坂係員

最初は音程やリズムの取り方が難しく声もあまり出せませんでしたが、練習していくにつれて上手くリズムを取れて声も出るようになりました。また、こういった集まりで専務や同期の皆さんと色々な会話ができることが嬉しいです。今後お祭りなどで披露できる機会があったら参加していきたいです。



・浜田係員

独特な節回りで、なかなか覚えるのが大変ですが、練習を始めた当初と比べると少しずつ声を出せるようになってきました。昨年はコロナの影響で木崎のお祭りが中止になり、社内のイベントもことごとく中止になってしまい披露する場なくとも残念でした。せっかく練習しているので、今年は披露できる場があると良いと思います。

